

支え合い、すすめよう地域福祉

「支え合う一人ひとりが主人公」

問い合わせ 福祉課 福祉政策係 ☎内線376

ページD・20279

地域での支え合い、助け合いによる福祉Ⅱ地域福祉をすすめるために、さまざまな活動が行われています。
令和4年・5年8月号と、このテーマをシリーズで特集してきました。
今回クロスアップするのは、本市の地域福祉計画にもある「日ごろからつながる」です。
水城小学校区、地域の人・子どもたち・先生と、みんなをつなげる地域コーディネーターの皆さんにお話を聴きました。

みんなをつなぐ地域コーディネーター

地域コーディネーターとは？



▲地域行事「時の記念日」など、地域のことを子どもたちに伝えます。

一言で表すと、地域と学校と家庭のつなぎ役です。地域と学校との連絡調整や地域の皆さんへ学校活動への参加や協力を呼びかけるなど、地域ぐるみで子どもたちを見守り、育て、地域とつながる役割を果たしています。
地域コーディネーターは、市内の全小中学校に配置されています。水城小学校区では、3人の地域コーディネーターが学校のなかにある「さくらルーム」で、活動しています。

日々の活動は
ブログ「さくらルーム通信」で公開中
☎<https://cs-mizuki.jugem.jp/>



どんな思いで活動していますか？

（村山さん・松尾さん・陶山さん）

「水城の地が好きだという子どもを育てよう」をスローガンに、水城小学校区にあふれる歴史や史跡、地域行事などの情報や魅力を発信し、子どもたちや保護者を地域へとつなげていきます。地域にどんな人がいるのかを知っているのが、学校にいろいろな人材を紹介できるのが、わたしたちの強みだと思っています。

活動の拠点が学校内にあることで、子どもたちの元気な姿やあいさつにエネルギーをもらっています。この活動を通して、思いがけない人たちと出会え、つながることができました。また、地域や学校とつながり、気さくに話し合える関係性が築けたことは財産です。

今日は、日ごろからつながってくださっているみんなと、わたしたちの思いを紹介します。

思いが伝わる、地域が変わる

（高瀬さん）地域コーディネーターとして頼れる3人が活躍してくれて、地域の側が、学校や子どもたちを見る姿勢も変わりました。お互いに興味をもっていくと、より良い学校、より良い地域になると思います。

（竹川さん）「水城の地が好きだ」という子どもたちが育つと、家族や地域の人にも地域への愛着が伝わり、みんなで心を寄せ合い支え合うやさしいコミュニティになると思います。

福祉課から伝えたいメッセージ

「つながる」が地域福祉のはじまり

隣近所の人にあいさつや声かけをしたり、地域活動や行事に参加したりする日ごろの小さなコミュニケーションを大切にしましょう。顔の見える関係性になることで、子どもも大人も世代や立場を超えて支え合う「地域福祉」につながります。



地域の情報が詰まった「さくら前線」



地域の人の顔がわかる安全見守りマップ

地域コーディネーターの
村山雅子さん



水城小学校 教員の
深町真子さん



地域コーディネーターの
松尾智子さん



榎町区自治会長の
坂井佳代子さん



水城小学校6年生の
服部空さん



坂本区の
高瀬昭登さん



水城小学校6年生の
梅崎心結さん



地域コーディネーターの
陶山麻子さん



通古賀区の
竹川克幸さん



さくらルームの
キャラクター さくらさん

